

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われたものの概要

【名 称】料理旅館梅家（りょうりりょかんうめや） 1棟

【所 在 地】伊賀市平田

【年 代】明治後期／大正8年改修

【建築面積】113㎡

伊賀街道平田宿にある明治期創業の料理旅館です。正面の欄間付堅格子が特徴の木造2階建ての建物で、屋根には天女や鷹等が装飾された鬼瓦が葺かれ、訪れる人々の目を楽しませています。

玄関を入ると、左手に座敷や家人の住居スペース、右手の土間を通じ別建物の客室へとつながります。座敷からは堅格子を通して、街道の往来を眺めることができます。

現在は「三重県まちかど博物館」として認定されており、平田宿の中心的な建物となっています。津と伊賀上野城下を結ぶ伊賀街道の宿場町の風情を伝える貴重な建物です。



天女や鷹の装飾鬼瓦